

湖南市地域自然エネルギー 地域活性化戦略プラン

~**自治体新電力**を核として**自然エネルギー**を活用することで 地域循環共生圏の実現と SDGs への貢献をめざします~



計画の対象期間

令和 2(2020)年度~令和 6(2024)年度





本プランは、地域に存在する自然エネルギーの活用により、地域経済の活性化(地域循環共生圏の実現)とSDGsへの貢献を最大の目的として、各主体との連携を図りながら地域新電力が核となって、「湖南市版シュタットベルケ構想」を実現するための取組を示したものです。



こちらのQR コードたらでもプランを閲覧て きます。

令和2年3月湖南市



自治体新電力を核として 地域にある自然エネルギーを活用することで 地域循環共生圏の実現と SDGs への貢献をめざします。

<湖南市版シュタットベルケ構想>

地域の自然エネルギー活用によるエネルギー費用流出の抑制 (地域内経済循環の実現/地域経済活性化)

地球温暖化対策 (CO₂排出抑制/災害時におけるレジリエンス向上)

地域新電力を核とした地域が一丸となった取組の推進

戦略プランの定量的な目標

経済	エネルギー代金 流出削減額	令和6(2024)年度の エネルギー価値を 20億円創出 (=流出額低減)する	
環境	地域新電力から供給される 電力の CO₂排出係数	令和32年(2050)年度に 地域新電力の電力排出係数を "0" とする	
	市域における CO₂排出量	令和12(2030)年度の CO2排出量を基準年度比で 40%削減 する	
社会	地域自然エネルギーに 関する取り組みの関係人口	令和6(2024)年度に 地域自然エネルギーに関する取組の関係人口を 3,000 人 とする	



地域新電力を核としたプロジェクト

プロジェクトの実施にあたっては、平成28年5月に地域新電力である「こなんウルトラパワー」を設立し、地域のエネルギーマネジメントが可能となったことから、地域新電力が核となって自然エネルギーの導入・活用に係るプロジェクトを推進するものとし、エネルギー資金流出の最小化による地域経済循環、SDGsへの貢献、脱炭素社会の実現による地域活性化を図っていきます。

小規模分散型市民共同発電 プロジェクト

家庭用太陽光発電買取 プロジェクト 自家消費型太陽光発電 プロジェクト

イモエネルギー活用 プロジェクト 木質バイオマス活用 プロジェクト 地域マイクログリッド 構築プロジェクト

公共施設の脱炭素化 プロジェクト

小規模分散型市民共同発電プロジェクト

- ●市民共同発電事業の継続
- ●ソーラーシェアリングへの参画
- ●自家消費型の屋根借り太陽光発電への参画

地域新電力は売電の受け皿になることに加え、技 術的なノウハウも持つことから、包括的パートナ ーとしての役割を担いながらプロジェクトを進め ていきます。



◆関連の深い SDGs 項目

家庭用太陽光発電推進プロジェクト

- ●卒 FIT 電力の買取
- ●電力供給と余剰電力買取を組み合わせた サービス
- 太陽光発電+蓄電池・電気自動車等の情報 提供

家庭での自然エネルギー活用に寄与する取組 を進めていきます。



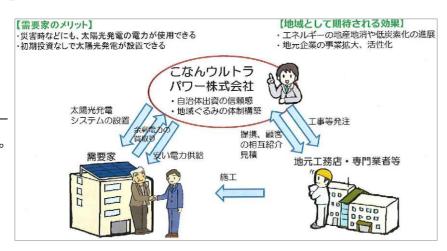
◆関連の深い SDGs 項目

自家消費型太陽光発電プロジェクト

●電力の需要家である市内の公共施設 や事業者の空きスペースに太陽光発 電設備を設置(自家消費+電力供給+ 余剰電力買取)

エネルギーの地産地消を進めていきます。 市内の需要家である事業者は、エネルギ 一料金の低減と併せて、負担なく太陽光 発電を利用できることにより環境負荷の 低減を図ることができるとともに、停電 時の非常用電源としても活用できるメリ ットがあります。

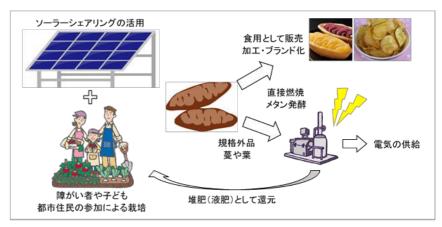
◆関連の深い SDGs 項目





イモエネルギー・熱利用プロジェクト

- ●サツマイモ栽培等にかかる農福連携 の取り組みの継続
- ●芋製品の6次産業化への展開の検討
- ●小規模分散型市民共同発電における ソーラーシェアリングとの連携
- ●地域の事業者や大学と連携し、メタン ガスによる発電システムを活用した 環境・エネルギー教育の実施



◆関連の深い SDGs 項目



木質バイオマス活用プロジェクト

3 すべての人に 健康と福祉を

- ●こにゃん木の駅プロジェクト準備委員会と障がい者の連携(林福連携)による燃料の安定供給
- 供給量に応じた公共施設等への需要設備の導入
- ●地域熱供給事業の立ち上げ、熱供給サービスの実施

川中・川下が一体とな ったプロジェクトの推 進が期待できます。

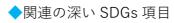
ペレット製造整備



障がい者との薪割り試行



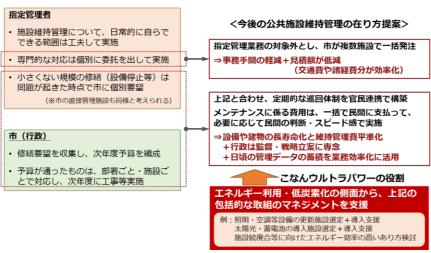
Step1 (~1 年) 薪・ベレットストーブで の利用	Step2(~3年) 薪ボイラーの導入	Step3(~5年) 地域の福祉施設等へ の薪ボイラー等の普及	Step4 持続可能な地域経営 の確立
◎地域の森づくりについて の維続検討○伐採・搬出の効率化く搬 出コストの低減〉○安全講習	○伐採・搬出の更なる効率 化 ○より価値の高い製材とし ての利用等の検討	■夏見・東寺生産森林組合 ○搬出エリア拡大に向けた 林道整備 ■その他の生産森林組合 ○伐採・搬出の開始	■夏見・東寺生産森林組合 ○子・孫への継承 ○持続可能な森林経営 ■その他の生産森林組合 ○伐採・搬出の更なる効率 化
■薪・ベレット供給事業者 ○市内木材を原料とした 薪・ベレット製造(山本 材木店・チーム森びと)■福祉との連携 ◎薪・ベレット製造の低コ スト化に向けた試行事 業の継続	■薪・ベレット供給事業者 ○安定供給に向けた市 外事業体との連携(甲 賀木の駅ブロジェクト 等)	■地域熱エネルギー事業(⑥地域エネルギー供給事 ○資金調達(ファンド、市)	業の計画立案
■公共施設・福祉施設 ◎薪・ペレットストーブの 導入(県補助活用) ■ゆらら十二坊温泉 ○導入に向けた詳細設 計・補助検討	■公共施設・福祉施設 ○ストーブの継続利用 ○新たな需要設備の導 入検討 ■ゆらら十二坊温泉 ◎薪ボイラーの導入	●公共施設・福祉施設 ○薪ボイラーの導入等に よる需要拡大	
	新・ペレットストーブでの利用 ■夏見・東寺生産森林組合の地域の森がくりについての継続検討 ○代採・搬出の効率化(搬出コストの低減) ○安全講習 ⑥木材のストックヤードの検討 ■薪・ペレット供給事業者 ○市内・ペレット供給事業者 ○市内・ペレット製造(山本材木店・チーム森びと) ■福祉との連携 ⑥薪・ペレット製造の低コスト化と向けた試行事業の継続 ■公共施設・福祉施設 ⑥薪・ペレット製造の低コスト化と前はたまが、アルカーのは表	新・ペレットストーブでの利用 ■夏見・東寺生産森林組合の地域の森づくりについての継続検討 ○代採・搬出の効率化(搬出ストの低減) ○安全講習の未材のストックヤードの検討 ■薪・ペレット供給事業者 ○市内木材を原料とした薪・ペレット製造(山本材木店・チーム森びと) ■福祉との連携の新・ペレット製造の低コスト化に向けた試行事業の継続 ■公共施設・福祉施設の禁入(県補助活用) ■ゆらら十二坊温泉 ○導入に向けた詳細設 ●新・イラーの導入	新・ペレットストーブでの利用 ■夏見・東寺生産森林組合 ◎地域の森づくりについての継続検討 ○伐採・搬出の効率化(搬出ストの低減) ○安全講習 ◎木材のストックヤードの検討 ■新・ペレット供給事業者 ○市内木材を原料とした薪・ペレット製造(山本材木店・チーム森びど) ■福祉との連携 ◎新・ペレット製造の低コスト化に向けた試行事業の継続 ■公共施設・福祉施設 ◎新・ペレット製造の低コスト化に向けた試行事業の継続 ■公共施設・福祉施設 ◎新・ペレット製造の低コストルーブの 導入(県補助活用) ■ゆらら十二坊温泉 ○導入に向けた詳細設 ◎薪・イラーの導入 ■公共施設・福祉施設 ○新ボイラーの導入 ■公共施設・福祉施設 ○新ボイラーの導入 ■公共施設・福祉施設 ○新ボイラーの導入 ●公共施設・福祉施設 ○新ボイラーの導入 ●公共施設・福祉施設 ○新ボイラーの導入



公共施設の脱炭素化プロジェクト

- ●省エネサービス事業の継続
- ●公共サービスを維持しながらコス トの縮減と脱炭素化の両立の検討

地域新電力は公共施設のエネルギー使 用状況を詳細に把握できる立場である ことから、エネルギーを主眼に置いた 効率的な公共施設の維持管理について 検討を行い、指定管理者と連携しなが らより良い公共施設運営に取り組んで いきます。



 $\langle = \rangle$

•

◆関連の深い SDGs 項目

地域マイクログリッド構築プロジェクト

- ■マイクログリッド街区の構築の検討
- ●市域全体における「スマートグリッド」を活用した電力の自給自足体制の検討

マイクログリッド街区を構築していくためには、各要素技術・機器のコストが高いことも課題であることか ら、国や県の制度を活用しながら進めていきます。



戦略プランの実現に向けて 自治体新電力を核 エネルギー・経済 地域循環共生圏の の循環による こなんウルトラ パワー 地域活性化の推進 官 金 湖南市 銀行 実現 7 地域資源との 関係性の見直し ٤ (仮) 地域循環共生圏 SDGs エ 誰もが参画できる 連携協議会 まちづくり の ル 貢献をめざします ギ 学 産 を 大学 関係企業 活用することで 安全・強靭で 持続可能

市民の役割

- ■本戦略プランに対する理解、実践
- ■イベントや講座等への積極的な参加、協力

民

市民

事業者の役割

- ■本戦略プランの取組の積極的な実施・協 力、脱炭素社会の実現と地域の活性化への 貢献
- ■必要な情報の収集、自らの取組の発信
- ■製品開発、技術開発

湖南市(行政)の役割

- ■本戦略プランの取組の実践、各主体が取組 みやすい環境づくり
- ■人材育成の積極的な推進、産学民金の様々 な連携のコーディネート
- ■国や県の制度等の情報収集・提供、地域が 主体となった活動を促進

こなんウルトラパワー(地域新電力)の役割

脱炭素に向けた

まちづくり

- ■地域資源を活用した地域へのエネルギー供給の 推進
- ■エネルギー資金の流出を最小限にとどめること を主眼とした事業展開
- ■設備導入や更新等における新しいサービスの 実施

大学(教育・研究機関)の役割

- ■大学等の研究機関の持つノウハウの活用
- ■市民や事業所と連携等を通じた、豊富な 知識・知恵の地域還元

銀行(金融機関)の役割

- ■資金調達、円滑な資金供給を通じた地域活性化 への貢献
- ■金融機関の持つネットワークの活用

【実現化プログラム】

プランに位置付けた各プロジェクトについて、実現化プログラムに基づき、取り組んでいきます。 また、エネルギーを取り巻く状況は目まぐるしく変化していることから、国のエネルギー政策や制 度の変更等に柔軟に対応し、毎年の進捗状況を踏まえ、適宜見直しを行いながら、PDCA サイクルに より進行管理を行います。

湖南市地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン【概要版】 令和2年3月

湖南市 総合政策部 地域創生推進課 地域エネルギー室 住所:〒520-3288 滋賀県湖南市中央一丁目1番地

電話:0748-71-2302 / FAX:0748-72-2000